

平成24事業年度

決 算 報 告 書

自：平成24年4月 1日

至：平成25年3月31日

国立大学法人大阪大学

平成24年度 決算報告書

国立大学法人 大阪大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	50,452	53,170	2,718	(注1)
施設整備費補助金	5,334	3,422	△ 1,911	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	9,735	10,504	769	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	148	148	-	
自己収入	51,180	52,052	872	
授業料、入学料及び検定料収入	13,095	13,007	△ 87	
附属病院収入	33,309	34,234	925	(注4)
財産処分収入	-	33	33	
雑収入	4,776	4,776	0	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	20,657	23,491	2,834	(注5)
引当金取崩	-	135	135	(注6)
長期借入金収入	1,026	1,287	261	(注7)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
出資金	-	16,600	16,600	(注8)
計	138,532	160,812	22,280	
支 出				
業務費	96,223	93,441	△ 2,781	(注9)
教育研究経費	65,604	60,512	△ 5,091	
診療経費	30,619	32,929	2,310	
施設整備費	6,508	4,858	△ 1,649	(注10)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	9,735	10,338	603	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	20,657	17,460	△ 3,196	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	5,409	5,397	△ 11	
計	138,532	131,496	△ 7,035	
収入－支出	-	29,316	29,316	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、当初予算段階で予定していなかった国立大学法人の行う産学共同研究開発事業に伴う特別運営費交付金が交付されたことが主たる要因となり、予算額に比して決算額が2,718百万円多額となっております。なお、決算額に含まれる前年度からの繰越金は3,308百万円であります。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していなかった工事期間の変更があったことから、予算額に比して決算額が1,911百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、教育研究の支援を目的とした補助金及び助成金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が769百万円多額となっております。なお、決算額に含まれる前年度からの繰越金は307百万円であります。
- (注4) 附属病院収入については、診療単価の上昇により診療収入が増えたため、予算額に比して決算額が925百万円多額となっております。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、前年度からの繰越金を使用したことにより、予算額に比して決算額が2,834百万円多額となっております。なお、決算額に含まれる前年度からの繰越金は4,915百万円であります。
- (注6) 引当金取崩については、前事業年度末の引当金を取崩したことから、決算額として135百万円の収入を得ております。
- (注7) 長期借入金については、借入計画の変更により、予算額に比して決算額が261百万円多額となっております。
- (注8) 出資金については、当初予算段階では予定していなかった国立大学法人の行う産学共同研究開発事業に伴う出資金を受け入れております。
- (注9) 業務費については、給与改定特例法等により給与の見直しが行われたことが主たる要因となり、予算額に比して決算額が2,781百万円少額となっております。
- (注10) 施設整備費については、(注2)に示した理由により予算額に比して決算額が1,649百万円少額となっております。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由により予算額に比して決算額が603百万円多額となっております。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究費の獲得額が減少したことが主な要因となり、予算額に比して決算額が3,196百万円少額となっております。